PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2002-087484

(43) Date of publication of application: 27.03.2002

(51)Int.CI.

B65D 85/34 // A23L 1/212

(21)Application number : 2000-283286 (71)Applicant: YAMADAI:KK

JUJO PACK KK

(22) Date of filing:

19.09.2000

(72)Inventor: OSATO YOSHITARO

FUKUDA ITARU KAYA CHIKANORI

(54) VEGETABLE AND FRUIT TRAY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve exterior quality with an improved appearance with a transparent sheet free from wrinkles by making a border between a vegetable or fruit and a space clear and by eliminating influence of moisture between openings of adjacent storage recesses when a tray is covered with the transparent sheet.

SOLUTION: A plurality of cup-formed storage recesses 1 having an opening 2 which receives a vegetable or fruit and is formed to be approximately circular are connected so that a connection 6 is formed between the adjacent recesses 1. A continuous flange 3 is provided outside opening rims 2a of the plurality of connected recesses 1. An outer

periphery of the flange 3 is formed in a shape similar to that of the opening 2 of the recess 1. An approximately V-shaped cut 10 is formed between flanges 3 of the adjacent recesses 1.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

19.09.2000

[Date of sending the examiner's decision of 27.04.2004

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-87484

(P2002-87484A)

(43)公開日 平成14年3月27日(2002.3.27)

(51) Int.Cl.7

識別記号

FΙ

テーマコード(参考)

B 6 5 D 85/34 // A 2 3 L 1/212 B 6 5 D 85/34

F 3E096

A 2 3 L 1/212

Z 4B016

審査請求 有 請求項の数7 OL (全 7 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特願2000-283286(P2000-283286)

(71)出願人 593051364

株式会社ヤマダイ

平成12年9月19日(2000.9.19)

青森県南津軽郡尾上町大字南田中字北原6

番地1号

(71)出願人 591036158

十條パック株式会社

東京都千代田区神田須田町1丁目3番地

(72)発明者 大里 由太郎

青森県南津軽郡尾上町大字南田中字北原6

番地1号 株式会社ヤマダイ内

(74)代理人 100093148

弁理士 丸岡 裕作

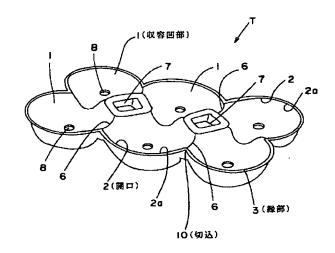
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 青果物用トレー

(57)【要約】

【課題】 青果物と空間との仕切り線を明瞭にするとと もに、透明シートでの被覆時に、隣接する収容凹部の開 口の間の水分による影響をなくして、透明シートにしわ がよらないように見栄えを良くして外観品質を向上させ るようにする。

【解決手段】 青果物が収容され略円形に形成された開 口2を有したカップ状の収容凹部1を隣接する収容凹部 1間に連通部6が形成されるように複数連設し、この複 数連設された収容凹部1の開口縁2aの外側に連続する 縁部3を設け、この縁部3の外周を収容凹部1の開口2 の形状に倣った形状に形成し、隣接する収容凹部1の縁 部3間に略V字状の切込10を形成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 青果物が収容されるカップ状の収容凹部を複数連設し、該複数連設された収容凹部の開口縁外側に連続する縁部を設けた青果物用トレーにおいて、

上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形状に倣った形状に形成したことを特徴とする青果物用トレー。

【請求項2】 青果物が収容されるカップ状の収容凹部 を隣接する収容凹部間に連通部が形成されるように複数 連設し、該複数連設された収容凹部の開口縁外側に連続する縁部を設けた青果物用トレーにおいて、

上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形状に倣った形 状に形成したことを特徴とする青果物用トレー。

【請求項3】 上記収容凹部の開口が略円形に形成され、上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形状に倣った形状に形成することにより、隣接する収容凹部の縁部間に略∨字状の切込を形成したことを特徴とする請求項1または2記載の青果物用トレー。

【請求項4】 上記収容凹部の形状を、深さが開口の半 径以下になるように扁平状に形成したことを特徴とする 請求項3記載の青果物用トレー。

【請求項5】 上記青果物が軸線を有した非球状立体形状であるときに、上記収容凹部の形状を、該収容凹部の開口のある面に対して上記青果物の軸線が傾斜して該青果物を収容できるように形成したことを特徴とする請求項1,2,3または4記載の青果物用トレー。

【請求項6】 パルプを原料にして型成形される紙製であることを特徴とする請求項1,2,3,4または5記載の青果物用トレー。

【請求項7】 撥水剤が添加されていることを特徴とする請求項6記載の青果物用トレー。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、リンゴ等の青果物を収納して店頭に並べるとき等に使用する青果物用トレーに関する。

[0002]

【従来の技術】従来、この種の青果物用トレーとしては、例えば、図8に示すようなものが知られている。これは、青果物Sが収容されるカップ状の収容凹部1を6個、例えば3列2行に連設し、複数連設された収容凹部1の開口2の開口線2aの外側に連続する縁部3を設けて構成されている。縁部3は、隣接する収容凹部1の開口2の間に、略三角形状の架設部4を有する。この青果物用トレーTは、例えば、透明のポリエステル樹脂製シートを成形加工してなる樹脂製(実用新案登録第3037004号公報掲載)、あるいは、パルプを原料にして型成形される紙製からなる。そして、この青果物用トレーTを用いるときは、図8に示すように、例えば青果物Sとしてリンゴで説明すると、青果物Sを収容凹部1に入れ、トレーを青果物Sごと、例えば、ポリエ

チレン等の樹脂製の極薄の透明シート5 (ラップシート)で被覆し (所謂シュリンク包装し)、この状態で店頭等に並べる。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ところで、このような 従来の青果物用トレーにあっては、縁部3は、隣接する 収容凹部1の開口2の間に略三角形状の架設部4を有す るので、この三角形状の架設部4が露出してしまい、そ れだけ、青果物Sと空間との仕切り線がぼけて、青果物 Sが小さく見えてしまうという問題があった。また、こ の青果物用トレーTが、紙製である場合には、図9に示 すように、青果物Sから出る水分や空気中の水分を吸収 して剛性が減少し、特に、三角形状の架設部4において 弱くなり、透明シート5で被覆している場合には、透明 シート5がその張力により、青果物用トレーTに圧接し ており、そのため、三角形状の架設部4が透明シート5 に押されて変形して、見栄えが悪くなるという問題があ った。更に、この三角形状の架設部4が変形すると透明 シート5が内側に入り込んでしわ5aになり、この点で も見栄えを悪くし、包装の外観品質を低下させてしまう という問題があった。本発明は上記の問題点に鑑みて為 されたもので、青果物と空間との仕切り線を明瞭にする とともに、透明シートでの被覆時に、隣接する収容凹部 の開口の間の水分による影響をなくして、透明シートに しわがよらないように見栄えを良くして外観品質を向上 させるようにした青果物用トレーの提供を目的とする。 [0004]

【課題を解決するための手段】このような課題を解決す るための本発明の技術的手段は、青果物が収容されるカ ップ状の収容凹部を複数連設し、該複数連設された収容 凹部の開口縁外側に連続する縁部を設けた青果物用トレ 一において、上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形 状に倣った形状に形成した構成としている。この青果物 用トレーを用いるときは、青果物を収容凹部に入れ、ト レーを青果物ごと、例えば、ポリエチレン等の樹脂製の 極薄の透明シートで被覆し、この状態で店頭等に並べ る。この場合、縁部の外周を収容凹部の開口の形状に倣 った形状に形成したので、青果物と空間との仕切り線が 明瞭になり、青果物が小さく見えてしまうことが防止さ れ、外観品質が向上させられる。また、本発明の青果物 用トレーが紙製の場合には、青果物から出る水分や空気 中の水分を吸収して剛性が減少していくが、縁部の外周 を収容凹部の開口の形状に倣った形状に形成したので、 隣接する収容凹部の開口の間に縁部がないことから、従 来のように三角形状の架設部が透明シートの張力により 押されて変形してしまう事態はなく、見栄えが悪くなる 事態が防止される。更に、透明シートは隣接する収容凹 部の開口の間を跨いで青果物や青果物用トレーに最初か ら張設されてこれを覆うので、透明シートが収容凹部の 開口の間に入り込んでしわになることが防止され、この

点でも見栄えが悪くなる事態が防止される。

【0005】そして、必要に応じ、青果物が収容される カップ状の収容凹部を隣接する収容凹部間に連通部が形 成されるように複数連設し、該複数連設された収容凹部 の開口縁外側に連続する縁部を設けた青果物用トレーに おいて、上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形状に 倣った形状に形成した構成としている。収容凹部を隣接 する収容凹部間に連通部が形成されるように複数連設し ているものなので、連通部がリブ構造を取ることから、 それだけ、剛性が高くなっており、全体の撓みが防止さ れる。また、必要に応じ、上記収容凹部の開口が略円形 に形成され、上記縁部の外周を上記収容凹部の開口の形 状に倣った形状に形成することにより、隣接する収容凹 部の縁部間に略V字状の切込を形成した構成としてい る。略V字状の切込の形成によって、確実に収容凹部の 開口間に縁部が露出しないようになるので、包装の外観 品質の向上が一層図られる。

【0006】更に、必要に応じ、上記収容凹部の形状 を、深さが開口の半径以下になるように扁平状に形成し た構成としている。青果物ができるだけ露出させられる ことになり、この点でも、青果物が小さく見えてしまう ことが防止される。更にまた、上記青果物が軸線を有し た非球状立体形状であるときに、上記収容凹部の形状 を、該収容凹部の開口のある面に対して上記青果物の軸 線が傾斜して該青果物を収容できるように形成した構成 としている。青果物の側面部分をより多く露出させるこ とができ、青果物が小さく見えてしまうことが確実に防 止される。また、必要に応じ、パルプを原料にして型成 形される紙製である構成としている。製造が容易で安価 に作成できるようになる。この場合、撥水剤が添加され ていることが有効である。青果物から出る水分や空気中 の水分の吸収効率がにぶり、そのため、全体の剛性が減 少してしまう事態が防止される。

[0007]

【発明の実施の形態】以下、添付図面に基づいて、本発 明の実施の形態に係る青果物用トレーについて詳細に説 明する。尚、上記と同様のものには同一の符号を付して 説明する。図1乃至図3に示す青果物用トレーTは、青 果物Sが収容されるカップ状の収容凹部1を複数(実施 の形態では6つ)、3列2行に連設して形成されてい る。収容凹部1の開口2は略円形に形成され、隣接する 収容凹部1間には凹状の連通部6が形成されている。収 容凹部1の形状は、図3に示すように、深さHが収容凹 部1の開口2の半径R以下の扁平状に形成されている。 例えば、H:R=(55~70):(75~90)の範 囲の関係に定めている。青果物としてリンゴを例にとれ ば、少なくともリンゴの高さの略2/3以上の部分を容 器外に露出させるように、深さHと半径Rとの関係を定 めるのが望ましい。例えば、H:R=63:83として いる。また、4個の収容凹部1に囲まれた中央部には、

矩形状の凹所 7 が形成されている。これにより、全体の 撓み防止が図られるとともに、エチレンガス吸収袋等の 収納を可能にしている。更に、各収容凹部 1 の底部の中 心には、丸穴 8 が開けられており、エチレンガスや水滴 を逃がすことを可能にしている。

【0008】更にまた、複数連設された収容凹部1の開口縁2aの外側には、連続する縁部3が設けられている。この縁部3の外間は収容凹部1の開口2の形状に倣った形状に形成されている。このように、縁部3の外間を収容凹部1の開口2の形状に倣った形状に形成することにより、隣接する収容凹部1の縁部3間に略V字状の切込10が形成される。そして、実施の形態に係る青果物用トレーTは、パルプを原料にして型成形される紙製であり、撥水剤が添加されている。

【0009】次に、この実施の形態に係る青果物用トレーTを製造する一例を説明する。この製造は、所謂パルプモールドによって行なわれる。図4に示すように、先ず、原料として古新聞、古雑誌、古段ボール等のリサイクル紙資源20を用い、これを適量の水とともにパルパー21に仕込み(1-1)、原料受入タンク22に移し、それから異物除去装置23で異物を除去し(1-2)、その後、原質調整設備24で添加剤の添加、叩解、濃度調整等の処理を行なう(1-3)。次に、周知の吸引型成形機25において金型成形し(1-4)、乾燥機26で乾燥して(1-5)、製品にする(1-6)。

【0010】このようにして製造された実施の形態に係 る青果物用トレーTを用いるときは、図5に示すよう に、例えば、青果物Sとしてのリンゴで説明すると、青 果物Sを収容凹部1に入れる。この場合、図5に示すよ うに、リンゴを垂直に立てて入れるのが一般的である が、斜めあるいは横にして入れるようにしても良い。そ して、トレーを青果物Sごと、例えば、ポリエチレン等 の樹脂製の極薄の透明シート5 (ラップシート)で被覆 し(所謂シュリンク包装し)、この状態で店頭等に並べ る。この場合、青果物用トレーTの縁部3の外周は収容 凹部1の開口2の形状に倣った形状に形成されているの で、青果物Sと空間との仕切り線が円形で明瞭になって おり、そのため、青果物Sが小さく見えてしまうことが 防止され、外観品質を向上させることができる。また、 収容凹部1の形状は、深さHが開口2の半径R以下の扁 平状に形成されているので、青果物らができるだけ露出 させられることになり、この点でも、青果物Sが小さく 見えてしまうことが防止され、外観品質を向上させるこ とができる。

【0011】更に、青果物用トレーTは紙製なので、青果物Sから出る水分や空気中の水分を吸収して剛性が減少していくが、隣接する収容凹部1の開口2の間に略V字状の切込10が形成されているので、この切込10のところには縁部3がないことから、従来のように三角形

状の架設部が透明シート5の張力により押されて変形してしまう事態はなく、見栄えが悪くなる事態が防止される。また、透明シート5は切込10を跨いで青果物Sや青果物用トレーTに最初から張設されてこれを覆うので、透明シート5が切込10内に入り込んでしわになりにくく、この点でも見栄えが悪くなる事態が防止され、包装の外観品質の向上が図られる。

【〇〇12】図6には、別の実施の形態に係る青果物用 トレーTを示している。これは、上記と略同様に形成さ れるが、上記と異なって、青果物Sがリンゴのような軸 線Pを有した非球状立体形状であるときに用いられるも ので、収容凹部1の形状が、収容凹部1の開口2のある 面に対して青果物Sの軸線Pが角度 θ だけ傾斜して該青 果物Sを収容できるように形成されている。尚、図6中 符号11は、収容凹部1に一体成形されリンゴの底部の 凹部に係合する突起である。この突起には、上記と同様 の丸穴8が開けられている。従って、この別の実施の形 態に係る青果物用トレーTによれば、青果物Sをその軸 線Pが角度 θ だけ傾斜して収容凹部1に収容するので、 青果物Sの側面部分をより多く露出させることができ、 青果物Sが小さく見えてしまうことが防止され、外観品 質をより一層向上させることができる。他の作用、効果 は上記と同様である。

【0013】尚、上記実施の形態では、収容凹部1の数を6つとし、連設の仕方も3列2行にしたが、必ずしもこれに限定されるものではなく、図7(a)に示すように、4個を矩形状に連設し、あるいは、図7(b)に示すように、2個を連設する等、適宜に数を定め配置して良いことは勿論である。また、上記実施の形態では、青果物用トレーTの材質を、パルプを原料にして型成形される紙製にしたが、必ずしもこれに限定されるものではなく、例えば、透明のポリエステル樹脂等の樹脂製シートを成形加工してなる樹脂製にする等、どのような材質にしても良いことは勿論である。

[0014]

【発明の効果】以上説明したように、本発明の青果物用トレーによれば、縁部の外周を収容凹部の開口の形状に倣った形状に形成したので、青果物と空間との仕切り線を明瞭にすることができ、そのため、青果物が小さく見えてしまうことを防止することができ、外観品質を向上させることができる。また、本発明の青果物用トレーが紙製の場合には、青果物から出る水分や空気中の水分に吸収して剛性が減少していくが、縁部の外周を収容凹部の開口の間に縁部がないことから、従来のよれで空間部の開口の間に縁部がないことから、従来のよれで直角形状の架設部が透明シートの張力により押さるとができる。また、透明シートは隣接する収容凹部の開口の間を跨いで青果物や青果物用トレーに最初から張設されてこれを覆うので、透明シートが収容凹部の

開口の間に入り込んでしわになることが防止され、この 点でも見栄えが悪くなる事態を防止でき、包装の外観品 質の向上を図ることができる。

【 O O 1 5 】そして、収容凹部を隣接する収容凹部間に連通部が形成されるように複数連設した場合には、連通部がリブ構造を取るので、それだけ、剛性が高くなっており、全体の撓みが防止される。また、収容凹部の開口が略円形に形成され、隣接する収容凹部の縁部間に略 V 字状の切込を形成した場合には、確実に収容凹部の開口間に縁部が露出しないようになるので、包装の外観品質の向上をより一層図ることができる。更に、収容凹部の形状を、深さが開口の半径以下の扁平状に形成した場合には、青果物ができるだけ露出させられることになり、この点でも、青果物が小さく見えてしまうことが防止され、外観品質を向上させることができる。

【0016】更にまた、青果物が軸線を有した非球状立体形状であるときに、収容凹部の形状を、該収容凹部の開口のある面に対して青果物の軸線が傾斜して青果物を収容できるように形成した場合には、青果物の側面部分をより多く露出させることができ、青果物が小さく見えてしまうことが防止され、外観品質をより一層向上させることができる。また、パルプを原料にして型成形される紙製である場合には、製造が容易で安価に作成できるようになる。更に、撥水剤を添加した場合には、青果物から出る水分や空気中の水分の吸収効率がにぶり、そのため、全体の剛性が減少してしまう事態を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る青果物用トレーを示す斜視図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る青果物用トレーを示す平面図である。

【図3】本発明の実施の形態に係る青果物用トレーを示す図2中A-A線断面図である。

【図4】本発明の実施の形態に係る青果物用トレーの製造工程を示す図である。

【図5】本発明の実施の形態に係る青果物用トレーの使用状態を示す斜視図である。

【図6】本発明の別の実施の形態に係る青果物用トレー を示す断面図である。

【図7】本発明の他の実施の形態に係る青果物用トレー を示す平面図である。

【図8】従来の青果物用トレーの一例をその使用状態で 示す斜視図である。

【図9】従来の青果物用トレーの不具合を示す斜視図である。

【符号の説明】

- T 青果物用トレー
- S 青果物
- 1 収容凹部

2 開口

2 a 開口線

3 緑部

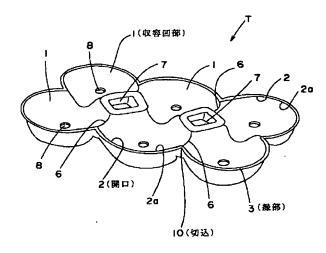
6 連通部

7 凹所

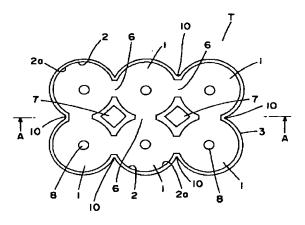
8 丸穴

10 切込

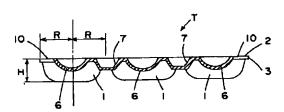
【図1】



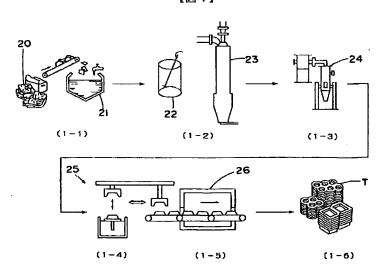
【図2】



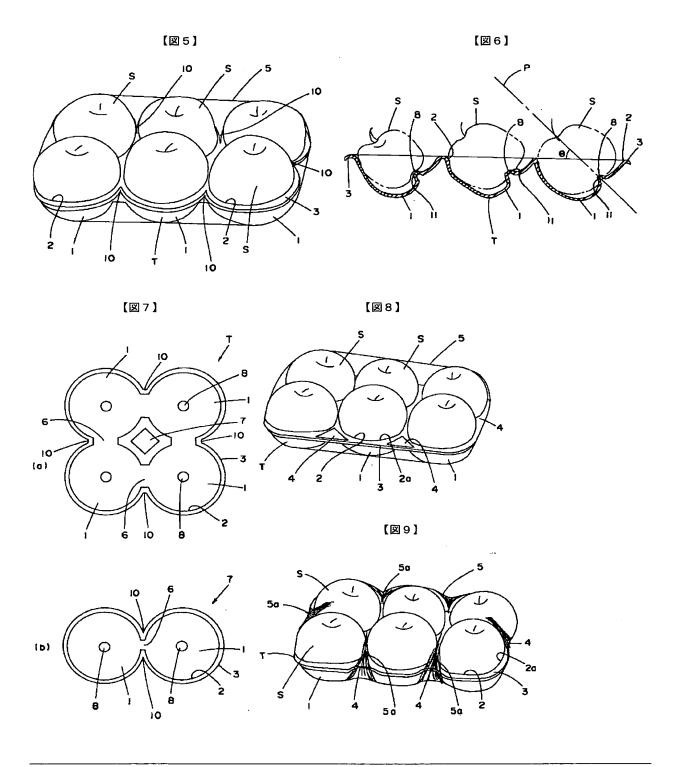
[図3]



【図4】



Best Available Copy



フロントページの続き

(72) 発明者 福田 格 千葉県柏市八幡町 3 - 59 (72)発明者 嘉屋 睦紀 東京都立川市曙町 2 - 18 - 11 ベルシャト ゥ立川303号

Best Available Copy

特開2002-87484

Fターム(参考) 3E096 AA09 BA27 BB09 CA06 CB10 DA01 DA17 DC01 DC02 EA02X EA04Y FA03 FA17 GA01 GA07 4B016 LG01 LP10